

授業科目名	セミナーⅡ 教養演習（英語）	※選 択	開講年次	2	単位数	2
科目区分	基本科目					
サブタイトル	英語スピーチの分析と発信力強化トレーニング	担当者	加藤 貴之			
講義概要	<p><b>【概要】</b>  まず教員が提示する共通の英語スピーチをサンプルにして分析の手法を学んだ後、各受講生が選んだスピーチ分析にその手法を応用する。分析結果は、レポートと口頭発表で報告する。扱うスピーチの選択は、政治、文化など幅広く受講者の関心に委ねたい。</p> <p>また、スピーチ分析により英語リーディング力の強化を図りつつ、英語と日本語のどちらでインプットした情報に対してでも、英語と日本語で即座に対応できる発信力を養う。毎回の授業で、メディア英語をテーマに、シャドウイングや逐次・同時通訳の訓練を行う。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチの基本的な分析方法、及び分析結果を報告する発表の仕方を習得する。</li> <li>・日刊英字新聞の記事を短時間で読み、英語・日本語のどちらでも要旨を説明できるようにする</li> </ul>					
履修条件	科目担当者の履修許可を得ること （英検準2級又は TOEIC 470 点程度の英語力を有するか確認する）					
教科書・参考書	<b>【教科書】</b> 初回授業で紹介 <b>【参考書】</b> 『英文翻訳術』著：安西 徹雄 / 出版：ちくま学芸文庫					
授業内容	1. イントロダクション 2. 共通スピーチの分析_descriptive analysis (1) 3. 共通スピーチの分析_descriptive analysis (2) 4. 共通スピーチの分析_descriptive analysis (3) 5. 共通スピーチの分析_contextual analysis (1) 6. 共通スピーチの分析_contextual analysis (2) 7. 共通スピーチの分析_contextual analysis (3) 8. 共通スピーチの分析_まとめ 9. 各自の選択スピーチ_descriptive analysis (1) 10. 各自の選択スピーチ_descriptive analysis (2) 11. 各自の選択スピーチ_descriptive analysis (3) 12. 各自の選択スピーチ_contextual analysis (1) 13. 各自の選択スピーチ_contextual analysis (2) 14. 各自の選択スピーチ_contextual analysis (3) 15. 各自の選択スピーチ_第1回プレゼン（日本語）			16. 各自の選択スピーチ_レポート提出、レビュー 17. 各自の選択スピーチ_ポスタープレゼン準備 18. 新たな視点_異文化間 COM とは 19. 新たな視点_ジェンダーとは 20. 新たな視点_ドラマティズムとは 21. 新たな視点_ナラティブとは 22. 各自の選択スピーチ_新たな視点で見直す(1) 23. 各自の選択スピーチ_新たな視点で見直す(2) 24. 各自の選択スピーチ_新たな視点で見直す(3) 25. 各自の選択スピーチ_第2回プレゼン（英語） 26. 集中) 発信型トレーニング_ドラマ字幕 27. 集中) 発信型トレーニング_ニュース報道 28. 集中) 発信型トレーニング_演説 29. 集中) 発信型トレーニング_交渉 30. 総括		
評価方法	・平常点（授業中の発言やコメントシート、ディスカッションのリード）30% ・プロジェクト 40% ・プレゼンテーション 30%					
評価基準	上記授業単元の内容について、これをよく理解し、適切に表現できた者には「A」を与える。単元の内容についての理解や表現に不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。					
その他	※Eカリキュラムの学生は選択必修科目					